

第113期 株主通信

2013.4.1 ▶ 2014.3.31



富士急行株式会社

証券コード：9010

五感で世界遺産・富士山を体感
フジQがお届けする



「富士飛行社」、7月登場



CONTENTS

ごあいさつ	1	事業別概況	8
FUJIKYU TOPICS (Year In Review)	2	連結財務諸表	10
FujiQ News	4	単独財務諸表	12
・「富士飛行社」		会社概況／株式情報	14
・「大空天国」		単元未満株式の買取・買増制度のご案内	15
・「イルドバカンス プレミア」		株主優待のご案内	16
・「フジヤマNAVI」			



株主のみなさまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第113期におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和策による景気回復への期待感などを背景に円安、株高が進み、企業業績の回復や消費マインドの改善による個人消費の拡大など、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。その結果、当期営業収益は476億95百万円（対前期106.7%）、当期経常利益は31億21百万円（対前期121.8%）、当期純利益は14億84百万円（対前期115.1%）となりました。当期における各事業の具体的な取り組みは、8ページ以降に記載しておりますので、ご高覧くださいようお願い申し上げます。

今後につきましても、当社グループを取り巻く事業環境は、政府の経済政策等による円安、株高の持続や所得環境の一部に改善の兆しがみられるものの、電力、ガス料金の値上げや高速道路料金の割引制度の縮小、平成26年4月に実施された消費増税の影響など、不透明な状況が続くものと考えられます。

こうした状況の中で当社グループは、運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業で、富士山の世界文化遺産登録後増加する観光客、特に外国人観光客に対応するための表示類の多言語化の推進、案内スタッフの増員、Web環境や各施設のインフラ整備などを進め、受入体制の充実を図ってまいります。

運輸事業につきましては、引き続き運輸安全マネジメントを実践し、安全の確保に鋭意努めてまいります。

鉄道事業では、首都圏からの直通列車の拡充や交通系ICカード乗車券の導入、大月駅の改修、特急車両の更新など、利便性の向上を図ってまいります。

バス事業では、富士山周辺における乗合バス、高速バスの交通ネットワークを拡充し、需要の喚起を図ってまいります。

不動産事業につきましては、山中湖畔別荘地、十里木高原別荘地でオリジナル商品の企画、販売を継続するとともに、当社グループ施設との連携を強化し、別荘地エリアの付加価値向上を図ってまいります。また、社有地の有効活用による賃貸事業化にも引き続き取り組んでまいります。

レジャー・サービス事業につきましては、今夏「富士急ハイランド」に、富士山の空中散歩が楽しめる全天候型フライトシミュレーションライド「富士飛行社」を新設し、施設の充実を図ってまいります。

「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」では、絶叫アトラクション「大空天国」を新設し、新たな客層の獲得に努めてまいります。

さらに、富士山五合目のレストハウス「富士急雲上閣」を、快適で安心な富士登山の拠点として、また、富士山五合目の景観のモデルとなる施設にリニューアルいたします。

平成24年5月に策定した「第三次中期経営計画」の最終年度に当たる平成26年度は、目標達成に向けて「ポートフォリオマネジメント戦略」「エリア戦略」を一層推進してまいります。

また、引き続き「120%の安全」をグループの最優先課題と位置づけ、徹底した安全管理に努めるとともに、平成25年4月に策定した事業継続計画（BCP）を着実に実行するほか、平成26年2月の記録的な大雪時の対応を検証し、今後異常気象がもたらす自然災害が発生した場合に、事業への影響を最小限にとどめる対策も講じてまいります。緩やかな景気回復に伴い深刻化する人手不足の問題に対しては、通年採用の拡充や処遇及び職場環境の改善等により、社会人採用や女性の活用を図るなど、適切に対応してまいります。さらに、会社法や労働基準法、税法、金融商品取引法など関係法令の動向を常に注視するとともに、コンプライアンスを尊重する意識を一層醸成し、法令を遵守してまいります。

当社グループは、「夢・喜び・やすらぎ・快適・感動」を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月
代表取締役社長 堀内 光一郎

FUJIKYU TOPICS

Year
In
Review

■ 富士本栖湖リゾートで
「2013 富士芝桜まつり」
開催（～6月）



■ 水陸両用バス
「YAMANAKAKO NO KABA」
2号車運行開始



4月

5月

6月

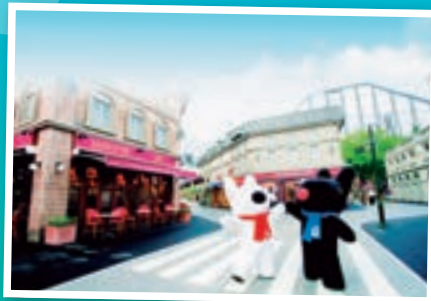
7月

8月

9月

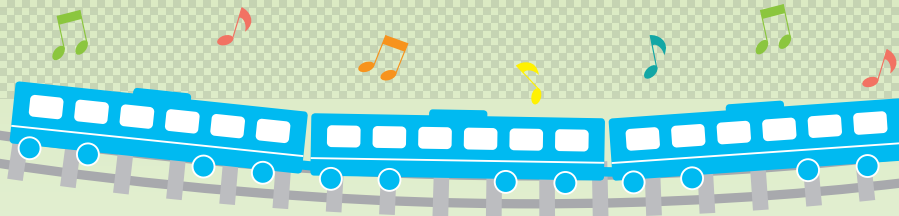
富士山
世界文化遺産
登録決定

■ 「リサとガスパールタウン」オープン



■ 遊園地ぐりんぱに、
立体カラクリ迷路
「ココドコ」オープン





■「スノータウンYeti」が
屋外スキー場で15年連続
日本一早くシーズン営業開始



10月

11月

12月

1月

2月

3月

■熱海シーサイド・スパ&リゾートに、
「ナチュラルコンフォートフロア」誕生



■さがみ湖リゾート
プレジャーフォレストに、
「迷路百貨店」オープン



■熱海～初島航路に、
新高速クルーズ船
「イルドバカンス プレミア」就航



五感で世界遺産・富士山を体感 フジQがお届けする  富士急ハイランド

「富士飛行社」、7月登場



(※イメージ)

富士急ハイランドに平成26年7月、富士山の大自然の魅力を体感できるフライトシミュレーションライド「富士飛行社」を開業します。

PICK UP

- ▶ 座席を包み込むような半球体構造となった直径20mの巨大スクリーンと、飛行訓練にも使われる精密な動きをする座席が富士山周辺のフライト映像と連動することで、スケール感あふれる大迫力の富士山飛行映像をお楽しみいただけます。
- ▶ よりヴィヴィッドに富士山を体感するための様々な仕掛けにより、富士山麓を吹き抜ける爽やかな風、広がる森林や美しい花たちの香り、湖面のしづきなどを肌で感じられる、リアルさにこだわった、まさに“富士山を五感で体感”できるアトラクションの決定版です。
- ▶ 圧倒的な存在感を放つ火口や、どこまでも深い緑に覆われる樹海、一面をピンクに染める芝桜を見下ろしながらの飛行に加え、臨場感あふれる湖面すれすれの低空飛行など、普通では見られない様々な富士山の表情をお楽しみいただくことで、お客様に格別な感動の旅をお届けします。

今夏、「富士飛行社」がお送りする、感動の富士山体験にご期待ください！

さがみ湖の山頂に日本初上陸！

「大空天国」、今夏開業決定



(※イメージ)

神奈川県相模原市で展開するアミューズメントパーク「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」に平成26年7月、日本初上陸の爽快スリルアトラクション「大空天国」を開業します。

PICK UP

▶ さがみ湖リゾートの特徴である大自然と起伏ある地形を最大限に活かし、園内で最も天国に近い標高370mの山頂に誕生します。

**富士急が長年培ってきた
エンターテインメントへのこだわりが注ぎ込まれた
スリルアトラクション「大空天国」。**

**“怖いけど...気持ちいい”未曾有の爽快・絶叫体験に、
どうぞご期待ください！**

▶ 併設された2台の16人乗り大型ブランコが、轟音と悲鳴を響かせながら最高速度80km/hで交互に振り上げられるこのアトラクションに乗れば、どこまでも広がる大空に向かって投げられるような爽快感と、遥か谷底へと振り落とされるような恐怖を、繰り返し味わうことができます。

熱海～初島航路に新高速クルーズ船

「イルドバカンス プレミア」就航



熱海～初島航路にて平成26年3月19日（水）新高速クルーズ船「イルドバカンス プレミア」が就航しました。総トン数271t、定員605名、熱海から初島を約25分で運航します。

PICK UP

▶ 離島への船旅という優雅で非日常的な時間を楽しんでいただけるよう、白を基調とした外観に、木目調で統一された船内と、リゾートクルーズに相応しいデザインとなっています。また、クルーズを堪能していただくため、海向きに設置したペアシート、ファミリー・グループで船旅を楽しめるボックスシートなど様々な客席をご用意しているほか、どなたにも快適な船旅を提供できるよう航路初のバリアフリー船となっています。

▶ 定期航路以外の時間では貸切船としての運行も可能で、船室内にはパーティーにご利用いただけるカウンターテーブルも設置いたします。優雅なクルーズをグループで楽しんではいかがでしょうか。



素敵な船旅を、是非とも「イルドバカンス プレミア」でお楽しみください！

富士山エリアを完全ガイドするウェブサイト

「フジヤマNAVI」

富士山の魅力や楽しみ方を様々な角度から紹介する情報サイトです。世界遺産登録を受けてますます人気の高まる「富士登山」はもちろん、豊富なビジュアルと編集部独自の視点で、富士山周辺の様々なトピックスを紹介する「特集記事」や、地元グルメや人気お土産、観光モデルコースなど、コンテンツの豊富さは、まさに富士山ガイドの決定版です。

PICK UP



多言語ウェブサイト

富士山を訪れる外国人観光客に対応するため、従来の日本語版に加え、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語の四ヶ国語のウェブサイトを開発。多言語ユーザーのニーズを捉えた情報をタイムリーに発信しています。



オンラインショップ 「フジヤマバザール」

「富士山」をテーマに据えたセレクトショップ。大人気の「フジヤマクッキー」やデザイナーの想いがこもった富士山モチーフの雑貨、季節限定の旬の食材など、独自の観点で質の高い商品を提供しています。



プレミアムツアーの販売

四季折々の富士山の絶景、温泉、グルメなど、富士山を楽しめる定番ツアーはもちろん、富士山に根付いた事業展開をする富士急行ならではの視点とネットワークで企画するフジヤマNAVIオリジナルのプレミアムツアーを提供しています。



フジヤマNAVI
TOPページ



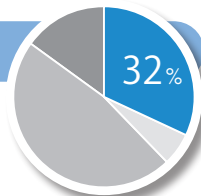
公式フェイスブックも
公開中



事業別概況（連結）



運輸事業



鉄道事業につきましては、富士山世界文化遺産登録により増加した観光客に対応するため、大月駅～河口湖駅間の運転本数を増加させるとともに、JR東日本と連携した直通列車の新規設定や企画乗車券の発売などを行いました。また、駅表示類の多言語化や案内スタッフの常駐など、外国人観光客へのサービス向上に努めました。

バス事業における乗合バス営業につきましては、6月から富士急静岡バス株式会社で、7月から富士急山梨バス株式会社で富士山世界文化遺産の構成資産を巡る路線バスを運行しました。また、富士登山口のマイカー規制期間延長に伴い、路線バスやシャトルバスを増便し、輸送力強化に努めました。また、11月には富士急平和観光株式会社で「塩山駅～富士山駅線」の運行を開始し、広域観光化を図りました。さらに、環境に配慮した試みとして、8月に富士河口湖町で燃料電池バスをデモンストレーション走行し、平成26年2月には東京都港区で電気バス（EV）を実証運行しました。

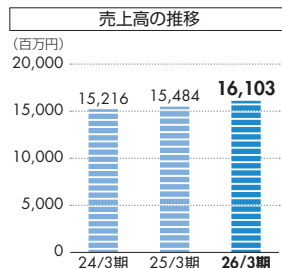
高速バス営業につきましては、7月に株式会社フジエクスプレスで「新宿～富士山五合目線」の運行本数を増便し、また、横浜と河口湖を結ぶ「レイクライナー」を富士山五合目まで延伸しました。さらに、4月に富士急平和観光株式会社で松本から、7月に富士急山梨バス株式会社で金沢から、平成26年3月に富士急湘南バス株式会社で横浜市北部から富士五湖への路線を開設し、集客強化に努めました。また、高速バス路線の一層の拡充を図るため、10月に富士急平和観光株式会社で山梨県甲州市と新宿を結ぶ「甲州ワインライナー」、平成26年3月に富士急湘南バス株式会社で横浜市北部と御殿場プレミアム・アウトレットを結ぶ路線を開設しました。

貸切バス営業につきましては、富士山世界文化遺産の構成資産を巡るツアーを企画、販売し、また、4月に富士急山梨バス株式会社で水陸両用バス「YAMANAKAKO NO KABA」2号車を導入し、収益の拡大に努めました。

ハイヤー・タクシー事業につきましては、富士急山梨ハイヤー株式会社で山梨県タクシー協会が認定する「山梨おもてなしタクシー認定ドライバー」の増員やクレジットカード・交通系ICカード決済の導入など、お客様の利便性向上に努めました。

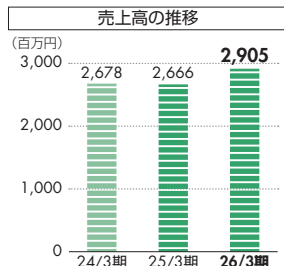
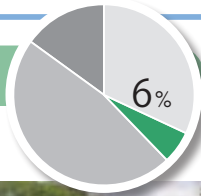
船舶事業につきましては、株式会社富士急マリリゾートが運航する熱海～初島航路に、平成26年3月、新高速クルーズ船「イルドバカンス プレミア」が就航しました。

運輸事業につきましては、安全管理体制の構築、安全意識の浸透を継続的に図ることを目的とした運輸安全マネジメントに基づき、鉄道、索道、自動車、船舶の各事業で安全目標、重点施策を設定し、より一層の安全確保に努めました。鉄道事業では、事業継続計画（BCP）に基づき、トンネルや沿線の斜面の耐震診断及び橋梁の余寿命調査を実施しました。バス事業では、全車両にドライブレコーダーを装着するほか、高速バス、貸切バスに衝突被害軽減ブレーキシステムを順次導入しました。また、9月には公益社団法人日本バス協会による「貸切バス事業者安全性評価認定制度」で、御殿場営業所他グループ6社が最高位の2つ星を獲得しました。以上の結果、運輸事業の営業収益は161億3百万円（対前期104.0%）となりました。



水陸両用バス
「YAMANAKAKO NO KABA」
2号車

不動産事業



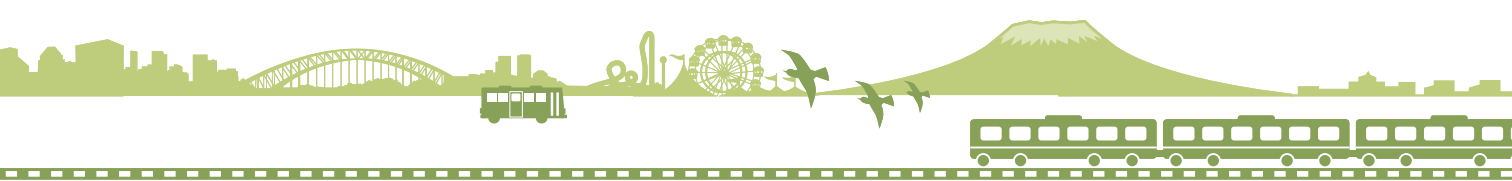
不動産販売事業につきましては、山中湖畔別荘地で趣味・嗜好を追求できる『コンセプト・ヴィラ』シリーズのほか、『山中湖の森シリーズ』に新商品「陽だまりの森」、『もえぎの森』を加えるとともに、お客様の要望を建築に反映させる注文建売別荘を受注し、販売しました。また、快適な別荘ライフを提供するため、季節ごとに開催している各種イベントの充実を図りました。

不動産賃貸事業につきましては、8月に御殿場場で建築した建物を家電量販店に賃貸するなど、収益の向上に努めました。

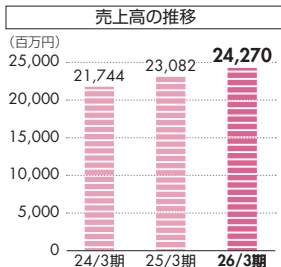
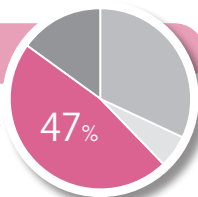
以上の結果、不動産事業の営業収益は29億5百万円（対前期109.0%）となりました。



ガレージハウス山中湖
（『コンセプト・ヴィラ』シリーズ）



レジャー・サービス事業



リサとガスパールタウン

©2014 Hachette Livre

遊園地事業につきましては、7月に「富士急ハイランド」に隣接して、フランス生まれの人気キャラクター「リサとガスパール」のテーマパーク「リサとガスパールタウン」をオープンし、新たな需要の創出と魅力向上に努めました。また、「富士急ハイランド・コニファーフォレスト」で開催した音楽イベント「サウンドコニファー229」は、7月から10月の間の8公演で約10万人のお客様が来場し、地域の活性化に寄与しました。

富士南麓の遊園地「Gripa」では、7月に多くの仕掛けを突破してゴールを目指す立体カラクリ迷路「ココドコ」をオープンし、多くのお客様にご利用いただきました。10月にはスノータウン「Yeti」が15年連続で日本一早くオープンし、新宿、横浜等からのライナーバスを7路線運行し、集客に努めました。

「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」においては、平成25年3月の「さがみ湖温泉 うるり」の開業によりエリア全体の魅力が高まり、来園するお客様の層が広がりました。また、7月に8つの仕様・難易度の異なるバラエティに富んだ迷路群「迷路百貨店」などがオープンしました。関東最大級の400万球のイルミネーションの祭典「さがみ湖イルミリオン」は、今回新たにプロジェクションマッピングの演出を加え、過去最高の約27万人のお客様にお楽しみいただきました。

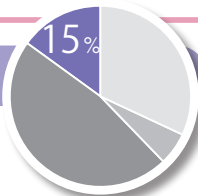
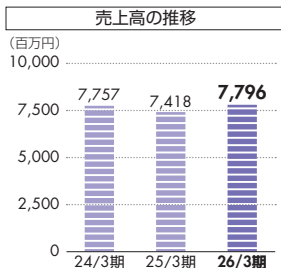
ホテル事業につきましては、「ハイランドリゾート ホテル&スパ」において、「フジヤマテラス」の外來需要が順調に推移したほか、11月には大型の国際会議を受注しました。また、「熱海シーサイド・スパ&リゾート」では、客室の一部をリニューアルしました。

その他のレジャー・サービス事業につきましては、12月に東名高速道路EXPASA富士川サービスエリアに地元水産、畜産加工品を取り揃えた「頑固市場」と、富士山をテーマにした雑貨や商品を取り揃えた「ふじやま屋」をオープンしました。

「富士本栖湖リゾート」の「2013富士芝桜まつり」は、抜本的な土壌改良や地域の特性に合った苗に植え替えるなどの管理体制と積極的な営業活動により、過去最高の約43万人のお客様にご来場いただきました。

以上の結果、ゴルフ場事業を含めたレジャー・サービス事業の営業収益は242億70百万円（対前期105.1%）となりました。

その他事業



株式会社レゾナント・システムズでは、国土交通省認定デジタルタコグラフ一体型ドライブレコーダーなどの交通機器の販売が順調に推移し、富士急建設株式会社では、大型の公共工事の受注が伸びました。一方、富士ミネラルウォーター株式会社では、非常用保存水の大口受注が減少しました。

以上の結果、その他事業の営業収益は77億96百万円（対前期105.1%）となりました。



国土交通省認定デジタルタコグラフ一体型ドライブレコーダー



連結貸借対照表（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	当連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)		当連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	22,959	24,623	流動負債	23,913	31,523
現金及び預金	9,489	11,059	支払手形及び買掛金	2,445	2,089
受取手形及び売掛金	2,778	2,790	短期借入金	15,278	23,205
たな卸資産	9,633	9,663	賞与引当金	426	412
その他	1,058	1,110	その他	5,763	5,815
固定資産	69,390	65,257	固定負債	48,543	40,573
有形固定資産	57,142	55,297	長期借入金	38,557	31,657
建物及び構築物	28,001	27,753	退職給付引当金	—	999
機械装置及び運搬具	5,540	5,205	退職給付に係る負債	973	—
土地	16,306	16,243	その他	9,012	7,916
建設仮勘定	1,580	798	負債合計	72,457	72,097
その他	5,713	5,297	(純資産の部)		
無形固定資産	3,261	3,085	株主資本	17,701	16,729
投資その他の資産	8,987	6,875	資本金	9,126	9,126
投資有価証券	5,477	5,028	資本剰余金	3,426	3,415
退職給付に係る資産	2,067	—	利益剰余金	6,633	5,679
その他	1,441	1,846	自己株式	△1,484	△1,491
資産合計	92,350	89,881	その他の包括利益累計額	1,457	410
			その他有価証券評価差額金	560	410
			退職給付に係る調整累計額	897	—
			少数株主持分	733	644
			純資産合計	19,892	17,784
			負債純資産合計	92,350	89,881

連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		(平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
営業収益		47,695	44,703
営業費		43,843	41,273
営業利益		3,851	3,430
営業外収益		318	281
営業外費用		1,048	1,150
経常利益		3,121	2,562
特別利益		475	823
特別損失		1,112	1,096
税金等調整前当期純利益		2,483	2,289
法人税、住民税及び事業税		938	923
法人税等調整額		△8	20
少数株主損益調整前当期純利益		1,554	1,346
少数株主利益		69	56
当期純利益		1,484	1,289

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		(平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		7,347	7,132
税金等調整前当期純利益		2,483	2,289
減価償却費		5,126	4,926
その他損益等調整額		1,164	1,076
資産・負債の増減額		490	38
小計		9,265	8,331
利息の支払額等		△1,917	△1,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		△6,453	△5,045
有形固定資産の取得による支出		△6,891	△5,558
その他		437	513
財務活動によるキャッシュ・フロー		△2,463	△1,325
借入金の増減額		△1,026	△2
その他		△1,437	△1,322
現金及び現金同等物の増減額		△1,569	762
現金及び現金同等物の期首残高		10,988	10,225
現金及び現金同等物の期末残高		9,418	10,988

連結株主資本等変動計算書（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

単位：百万円

	株主資本				その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	9,126	3,415	5,679	△1,491	16,729	410	—	410	644	17,784
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△529		△529					△529
当期純利益			1,484		1,484					1,484
自己株式の取得				△8	△8					△8
自己株式の処分		10		14	25					25
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						150	897	1,047	88	1,136
連結会計年度中の変動額合計	—	10	954	6	971	150	897	1,047	88	2,108
当期末残高	9,126	3,426	6,633	△1,484	17,701	560	897	1,457	733	19,892

単独財務諸表



貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	第113期 (平成26年3月31日現在)	第112期 (平成25年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		20,202	22,003
現金及び預金		8,536	9,952
未収運賃		461	447
未収金		929	1,319
たな卸資産		8,521	8,484
その他の流動資産		1,754	1,799
固定資産		59,132	57,802
鉄道事業固定資産		3,806	3,411
自動車事業固定資産		4,396	4,409
観光事業固定資産		28,937	28,998
土地建物事業固定資産		8,481	8,634
各事業関連固定資産		1,900	1,936
その他の固定資産		340	348
建設仮勘定		1,499	692
投資その他の資産		9,770	9,371
投資有価証券		5,913	5,662
長期貸付金		2,699	2,815
その他の投資等		1,169	913
貸倒引当金		△12	△20
資産合計		79,335	79,805

科 目	期 別	第113期 (平成26年3月31日現在)	第112期 (平成25年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債		20,251	27,853
短期借入金		13,583	21,012
未払金		2,633	2,513
賞与引当金		58	53
その他の流動負債		3,976	4,274
固定負債		43,255	36,463
長期借入金		37,277	30,671
長期預り保証金		3,703	3,420
その他の固定負債		2,274	2,371
負債合計		63,507	64,316
(純資産の部)			
株主資本		15,332	15,125
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,400	3,400
利益剰余金		4,019	3,804
自己株式		△1,213	△1,205
評価・換算差額等		495	363
その他有価証券評価差額金		495	363
純資産合計		15,828	15,488
負債純資産合計		79,335	79,805

損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	
	第113期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	第112期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
鉄道事業		
営業収益	1,513	1,347
営業費	1,326	1,219
営業利益	186	128
自動車事業		
営業収益	1,868	1,828
営業費	1,367	1,379
営業利益	500	449
観光事業		
営業収益	20,131	19,229
営業費	18,565	17,587
営業利益	1,565	1,642
土地建物事業		
営業収益	2,026	1,800
営業費	1,563	1,341
営業利益	462	459
全事業営業利益	2,715	2,679

科 目	期 別	
	第113期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	第112期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
営業外収益	217	260
営業外費用	993	1,098
経常利益	1,939	1,840
特別利益	70	608
特別損失	782	1,416
税引前当期純利益	1,226	1,032
法人税、住民税及び事業税	484	591
法人税等調整額	△7	△66
当期純利益	749	506

株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

単位：百万円

	株主資本								自己株式	株主資本 合計	評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式				
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金					
当期首残高	9,126	2,398	1,001	3,400	1,959	219	1,624	3,804	△1,205	15,125	363	15,488
当期変動額												
剰余金の配当							△533	△533		△533		△533
当期純利益							749	749		749		749
自己株式の取得									△8	△8		△8
株主資本以外の項目の 当期の変動額 (純額)											131	131
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	215	215	△8	207	131	339
当期末残高	9,126	2,398	1,001	3,400	1,959	219	1,840	4,019	△1,213	15,332	495	15,828

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

単元未満株式の買取請求・買増請求について

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

当社の単元株式数は1,000株ですので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売ることができません。お持ちの単元未満株式を当社が買い取るか（買取請求）、もしくは1単元である1,000株とするために、当社から単元未満株式を買い増す（買増請求）ことができます。

【単元未満株式の買取・買増制度の概要】

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

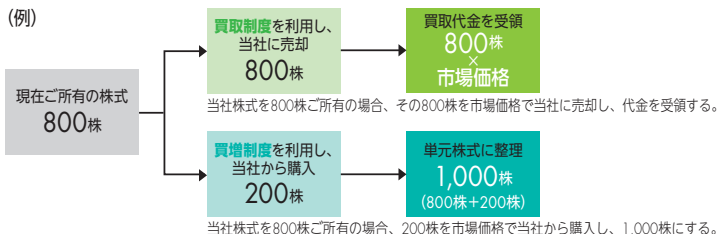
買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元（1,000株）の株式にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

【お手続きについて】

■ 証券会社に口座を開設されている株主様
 口座のある証券会社にお問い合わせください。
 ただし、株券電子化以前に株券が発行されていない単元未満株式（証券会社の口座に記録されているものを除きます）をお持ちであった場合には、株券電子化実施日時点で、単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

■ 証券会社に口座を開設されていない株主様
 単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。



当社は1,000株以上ご所有の株主様に株主優待券を発行しております。株主優待については、次ページをご覧ください。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のご案内



電車・バス・観光施設 共通優待券



- 電車全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- バス全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- 富士急ハイランド (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- ぐりんぱ (1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換)
- さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- スノータウンYeti (5枚につき1日入場滑走券1枚と引換)
- あだたら高原スキー場 (5枚につきリフト1日券またはゴンドラ往復券1枚と引換)
- 初島アイランドリゾート (1枚につき1名入園)
- 天上山公園カチカチ山ロープウェイ (1枚につき1名乗車 (往復))
- 河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船 (1枚につき1名乗船)
- 初島航路 (2枚につき1名乗船 (往復))
- フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館)
- ふじやま温泉 (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)
- さがみ湖温泉 うるり (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)

フリーパス引換券



- 遊園地フリーパス (富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト)
- スキー場一日券 (スノータウンYeti・あだたら高原スキー場)

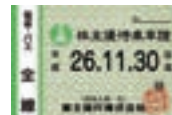
高速バス乗車券



高速バス乗車券

※高速バスご利用について
高速バス乗車券は、中央高速バス「富士五湖～新宿線」「富士山五合目～新宿線」「甲府～新宿線」、東名高速バス「河口湖～東京・市が尾線」「富士宮～東京線」「沼津～新宿・渋谷線」「三島～新宿・渋谷線」の富士急便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線 優待バス



電車・バス全線優待バス
(表示された持参人1名)

ご優待の内容

枚数

35,000株以上

40枚

6枚

4枚

1枚

20,000株以上

40枚

5枚

4枚

10,000株以上

25枚

4枚

2枚

5,000株以上

15枚

3枚

1枚

3,000株以上

10枚

2枚

1,000株以上

7枚

1枚

長期保有特別優待券*



「ハイランドリゾート ホテル&SPA」「ホテルマウント富士」の指定するツインルーム室料100%またはホテル内レストラン利用料30%割引券
(3年に1度の発行となります。)

3枚

2枚

2枚

施設割引券

ご優待の内容	枚数
ハイランドリゾート ホテル&SPA ホテルマウント富士	1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引
ホテルマウント富士 プール割引券	20%割引 (1枚につき4名まで)
富士宮富士急ホテル 甲府イーストサイドホテル	2ホテル共通1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引
富士急グループホテル 飲食割引券	レストラン・バー10%割引 (1枚につき4名まで)、「ホテルマウント富士」では、食事付入浴10%割引 (1枚につき4名まで)として利用可。
富士ゴルフコース	所定 プレー料金 から2,000円割引 (1枚につき4名まで)
ゴルフパーク Bandi	パック料金から1,000円割引、土日祝日2,000円割引 (1枚につき4名まで)
大富士ゴルフ場	所定 プレー料金 から2,000円割引 (1枚につき4名まで)
ふじやま温泉	入館料 平日大人780円 小人420円 土日祝日 大人1,030円 小人520円 (1枚につき4名まで)
さがみ湖温泉 うるり	入館料 平日大人800円 小人350円 土日祝日 大人850円 小人350円 (1枚につき4名まで)
PICA山中湖ヴィレッジ	コテージ1棟 (素泊り) 10%割引、レストラン [FUJIYAMA KITCHEN] 5%割引
PICA富士吉田・PICA富士西湖・キャンピカ富士ぐりんば・パティントンベアキャンプグラウンド	1枚につき1泊1室10%割引
富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引 (1ケース以上)
富士急トラベル	パッケージ旅行代金の5%割引 (1枚につき4名まで)
富士急ハイランドQ-BOWL (ボウリング場)	1ゲーム平日、土日祝日とも410円 (1枚につき4名まで)
富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃10%割引

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で1,000株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に応じてそれぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

● 長期保有特別優待券について*

■ 長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日 (3月31日、9月30日) の株主名簿において、対象となる株式数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様へ3年経過ごとに発行しております。**(3年に1度の発行となります。)**

相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有されている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対象となりませんのでご注意ください。

■ 長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、夏期ハイシーズン等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。

その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<http://www.fujikyū.co.jp/>



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

